



愛整定時総会・共済会総会



引き続き、愛知県接骨師会共済会総会が開催され、令和5年度事業報告承認の件を小林 茂総務担当が、令和5年度収支決算書承認の件を河合経理担当が報告。石田 真由美監事が監査報告をされ挙手多数にて承認。その後、小林総務担当から令和6年度事業計画が、河合経理担当から収支予算書が報告され、金田副会長の閉会の辞にて終了した。(広報部)

5月19日(日)、午前10時より愛知県柔道整復師会定時総会・愛知県接骨師会共済会総会が、本会会館3階講堂にて開催された。

藤川 和秀副会長の開会の辞の後、森川 伸治会長は「ここ10年間で療養費の取り扱いが30%以上減少するという、考えられないような大変厳しい状況が続いております」と話し、本年度柔道整復療養費の料金改定について、6月1日より初検料が1,520円から30円のアップの1,550円、電療料が30円から3円アップの33円、10月からの変更点として、明細書発行体制加算が月1回10円(体制が整っていない場合に届け出する)になったこと。又、10月1日からは長期・頻回療養の料金適正化として、5か月超の長期療養の算定額は現在の100分の80(20%通減)から100分の75(25%通減)に引き下げ、5か月超かつ月10回以上の長期頻回療養では100分の50(50%通減)となることを報告された。

最後に「皆様方の貴重な会費を無駄の無いよう業務執行するとともに、役員一同、諸問題にしっかりと対応してまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますことを切にお願い申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます」と述べた。

続いて物故者2名への黙祷、新入会員10名の紹介が行われ、三根 洸輝会員(岡崎)が新入会員を代表して挨拶し、森川会長より当日会場に出席された5名に歓迎の言葉を贈られた。また文部科学副大臣 今枝 宗一郎衆議院議員からの祝電も披露された。



議長に山口 敬史会員(笠寺)、副議長に室谷 勉会員(半田)が選出され、松田 吉弘総務部長より、令和5年度事業報告と附属明細書の報告。河合 修宏経理部長より第1号議案～第4号議案までが報告され、金田 圭一監事の監査報告があり、議案全てが挙手多数にて承認された。また、第5号議案、会員除名の件について松田総務部長より報告があり、合わせて承認された。

続いて、松田総務部長より令和6年度事業計画書の件、河合経理部長より令和6年度収支予算書ならびに、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件について報告があり定時総会が終了した。

新入会員紹介

氏名	支部名	施術所名
松本 辰哉	岡崎	松本接骨院
佐竹 一範	大曾根	さたけ接骨院
秋本 幸祐	中村	東海スポーツ接骨院
廣瀬 将人	熱田	ひろせ接骨院

一宮ママさんバレーボール大会救護活動

4月21日(日)曇り空の中、いちい信金アリーナ(一宮市総合体育館)で開催された「市民バレーボール大会ママさんの部」の報告をさせていただきます。

21チーム、総勢約220名の選手が参加し行われました。参加者の年齢層も20代から60代までの幅広い選手たちで会場は熱気を帯びていました。

救護活動チームとして、試合を行っていない方々ともコミュニケーションをとりながら和やかな雰囲気の中で活動することができました。

この日は骨折や脱臼などの大きな怪我はありませんでしたが、これは選手自身の日頃のストレッチ等でのメンテナンスと、選手たちの相互の注意が大きな役割を果たしたからだと感じました。また、救護所にみえた多くの方からは試合に向けた直近の練習で起こった捻挫や打撲の相談も多くありました。

今後は正しい応急処置を、個々のチームの中で実施できる体制づくりへの協力の必要性があります。



今回のボランティアを通じて地域社会の一員として、健康と安全を守りながら、スポーツの楽しさを共有できたことを嬉しく思います。(一宮支部 三谷 誉)